

深刻なコロナ禍のなか「大阪市廃止」？ 大阪市の力で命と健康 暮らしを守ろう！

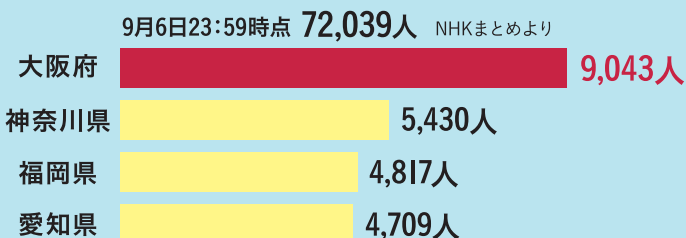


打開のカギ、PCR検査の抜本的拡大

コロナ感染者数が東京に次いで多い大阪、とりわけ大阪市内は深刻です。PCR検査を1日1~2万件に増やすなど、対策強化が急務です。ところが大阪府のPCR検査能力数は、東京都の4分の1、神奈川県に半分程度。最大のネックは「バーチャル大阪都でうまくいっている」「PCR検査は足りている」とPCR検査の抜本的拡大や医療機関の抜本的支援などに背を向ける知事・市長の姿勢です。

「大阪モデル」はくるくる変わり、「結果を見てから基準を決める。科学でこれをする」と信頼性が揺らぐ(山中伸弥教授)も懸念を表明しています。「イソジンが効果」発言(8月4日)には多くの批判がだされました。

都道府県ごとの感染者数(累計)



深刻な大阪市内の感染状況

	人口	検査件数	陽性者数	死者
大阪府	882万人	147,169人	9,088人	166人
大阪市	275万人	45,873人	4,832人	99人
大阪市の割合	31%	31%	53%	60%

人口は4月1日現在 検査件数などは9月7日時点の数値



コロナの教訓生かし、大阪市の力を活かして 明日の大阪へ踏み出す時

コロナ問題は、これまでの大阪の政治・経済・社会の転換を求めています。
ところが、維新は「大阪の成長」とは「カジノ誘致」「大型開発推進」だと固執しています。

\\ 私たちは、これらの実現を呼びかけています //

01

保健所や公的病院
機能の立て直しをはじめ
医療・保健・福祉の
体制の抜本的充実

02

インバウンド頼みでなく
庶民のふところあため
中小企業支援で
経済発展

03

子どもたちに
20人程度の少人数
学級などの実現を

市民みんなの力で
大阪市をよみがえらせよう